

○事業所名	オハイアライ		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		～ 2025年 2月 15日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりに向き合い、それぞれの個性を理解した上での療育提供を行っている 「小さな保育園」的な立ち位置で、一年を通じて生活リズムや遊びのルール等を学んでいきます	「社会性」を支援することに重きを置いており、それに必要な『個別支援』と『手段療育』のバランスを意識してプログラム提供を行っている	職員研修を通じて、スキルアップを図り、療育提供の質を高め、幅を広げる努力を行う
2	オープンな事業所を意識し、児発管と管理責任者の顔が見える事業所を推進	毎月開催している「オハイアライの宴(参観日)」に保護者の方に積極的にご参加いただき、子育て支援サポートに力を入れている	開催曜日を毎月変更し、より多くの保護者の方にご参加いただけるよう工夫を取り入れた
3	専門支援を行う上で、経験豊富な正社員スタッフの充実	様々なスキルを有する人材の採用により、年齢等に捕らわれない幅の広い職員を配置 ベテラン保育士、特別養護学校教諭、理学療法士、作業療法士、経験豊富な児童指導員	パートタイム職員の幅も広げて、より広い人材確保に努める

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種マニュアル運用に際して、保護者への情報提供や周知徹底に至るまでのプロセスが不足している	開所1年目で試行錯誤をしながら、進んできているため、様々な点での改善・改定が都度発生している	情報提供アプリの「掲示板」機能等を有効活用し、事業所内イベントやマニュアル改定などの情報発信をより丁寧に行い、保護者様への周知を図る
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日 R7年 3月 15日					利用児童数	16	回収数	16	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13		2	1	欲を言えばもう少し広いといいと思いますが、丁度良いと思います。もう少し広い方が良いと思いますが、職員さんの目が届く範囲となると今の大きさでもよいかと	事業所内の活動と公園などで体を大きく使って遊ぶ活動をうまく分けて活動につなげるように工夫をします		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15			1	ほぼ1:1で見てもらえてとても手厚いです	ご意見、ありがとうございます		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	1						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	2			季節に合わせた可愛い飾り付けがされていて、子どもたちも居心地が良さそうです	ご意見、ありがとうございます		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16							
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16							
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16							
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16							
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1			毎週同じ曜日に通所していますがいつも違うプログラムで帰宅後とても楽しそうに話してくれています	ご意見、ありがとうございます		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	4		2	10	ないように思いますが、事業所でやる必要はないと思います 今のところ、うちの子はまだその機会はないです	2024年の夏祭り開催の際には近隣児童への参加の声をしましたが、当日は参加がなくて残念でした		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	1	3	見学会が月一回あるので、あまり参加できていませんが参考になります	ご意見、ありがとうございます		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15		1		毎回子どもの写真やれんくちょうを細かく書いて下さり、オハイでどのように過ごしたのかが分かりやすいです			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1	1		毎月面談を設けて下さるので、親側も安心できることが増えました	ご意見、ありがとうございます		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14		1	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	1	3	7	なくても大丈夫です 出席したことはありませんが、毎月(参観日、保護者交流会)があります	ご意見、ありがとうございます		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			1	相談等申し込むとすぐに日時調整してくれます	ご意見、ありがとうございます		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16				連絡帳や送迎時にしっかりと伝達できていると思います	ご意見、ありがとうございます		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	14	1		1				
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15	1							
非 常 時 等	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14	2			説明は受けてます。訓練もされている事と思います	ご意見、ありがとうございます		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	1	1	3	週に一度の通所なので、うちの子が訓練されているかは分かりませんが...	訓練に参加できる児童は通所日によってまちまちであるので、毎年開催する曜日を覚えておくなどの工夫をするようにします		

の 対 応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15		1	出入口の管理はしっかりされていて安心です。先生方もよく見てください	ご意見、ありがとうございます
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		1	事故やけがはまだありません	
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16			とても楽しみにして通えます 行き渋りもなくいつも楽しみにしています 毎回楽しそうに通所が出来ます	ご意見、ありがとうございます
	29	事業所の支援に満足していますか。	16			事業所で過ごしている時の写真をいつも楽しみにしています 息子も少しづつできることが増えて、とても楽しく通所させていただいています。 相談の機会も多くとても満足しています 大変満足しています ほぼ満足していますが、送迎が9:40に到着できるなるべく早い時間に迎えに来てほしい	ご意見、ありがとうございます 送迎の順番など臨機応変に対応できるように検討を重ねています

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	オハイアライ		公表日 R7年 3月 15日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		限られたスペースで、行える個別支援/集団療育を工夫しながら、運動面の支援も行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		訓練室が一望でき、どの先生からも全ての児童が見える環境である。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		必要に合わせて、仕切りを設けたり工夫している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		評価表以外にアンケートを実施し、事業所運営に際して保護者のニーズを確認する機会を設けている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		半年に一度の個別面談や意見箱を設けて、職員の意見を吸い上げる工夫を行っている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	1	社会福祉法人ルロワを外部相談機関としており、様々な情報交換を行っている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		定期研修、毎朝のブリーフィングを行って療育の資質向上に努めている	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			時間を設定することが難しい 児童に関する情報交換や支援内容の検討は日々行っているが、改めて深いディスカッションを行う時間を取れるよう研修を設ける
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	2		そういった機会がほぼない為、積極的に当方からの投げかけをしなければならないのだと感じている機会がない
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		そういった機会がほぼない為、積極的に当方からの投げかけをしなければならないのだと感じている
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		保育所等訪問支援事業を行っているため、スムーズに相互理解を高めることができる	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	保護者とは相談の機会を設けて、進学相談や支援内容の共有を行っている	殆どの児童に相談支援員が付いていないので、そのような場を設けることが難しい機会がない
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	市が主催の研修等に参加し、情報交換を図るなどを行っている	機会がない
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5				

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4		事業所内にて開催の夏祭りイベントに地域のお子さまにもお声がけを行っている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	入所時に必ず確認を行っている。 医師から指示書が出ているケースがない。	そのような機会が今までにない
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		年に2度の研修を実施しているが、それでは十分ではない為、毎朝、安全管理の安全運営の話し合いを行っている	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		都度、記録を残し共有している	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		職員を研修等にも派遣し、日々意識を高めている	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2	拘束が必要なシチュエーションがない（2名）	事業所でマニュアルがあり、契約時に保護者にも説明＆同意書を得ているが、そういった流れがあることを職員へも周知させる必要がある	